

# 事前評価調書

I 事業概要																																																					
事業名	道路事業																																																				
地区名	一般県道 <sup>こめのきあざぶ</sup> 米野木 <sup>えびいけ</sup> 筋生線（海老池工区）																																																				
事業箇所	日進市 <sup>こめのきちょう</sup> 米野木町地内																																																				
事業のあらまし	<p>一般県道米野木筋生線は、日進市からみよし市に至る路線であり、地域間の交流を促進させる重要な路線である。</p> <p>当該事業区間の周辺では、東名高速道路東郷パーキングエリアにおいて（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備が進められており、また日進市東部地域においては企業立地が進むなど、物流の効率化に向け、高規格道路へのアクセス機能を強化する必要がある。</p> <p>このため、高規格道路へのアクセス性の向上を主な目的として、一般県道米野木筋生線の現道拡幅を実施するものである。</p>																																																				
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>（1）陸・海・空一体の国際競争力の強化（高規格道路へのアクセス性向上）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>																																																				
事業費	事業費	内訳																																																			
	3.0 億円	■工事費 2.0 億円、■用補費 0.5 億円、■その他 0.5 億円																																																			
事業期間	採択予定年度	2021 年度	着工予定年度	2022 年度	完成予定年度	2025 年度																																															
事業内容	現道拡幅（延長：0.4km、車線数：2 車線、幅員：16.0m）																																																				
II 評価																																																					
①事業の必要性	1) 必要性	<p>（1）陸・海・空一体の国際競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東名高速道路の東郷パーキングエリアにおいて、（仮称）東郷スマートインターチェンジの整備が進められており、また日進市東部地域では企業立地が進んでおり、物流効率化に向け、（仮称）東郷スマートインターチェンジへのアクセス性の向上を図る必要がある。</li> </ul>																																																			
	判定	A	<p>A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。</p> <p>B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。</p> <p>【理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高規格道路へのアクセス性の向上のため、事業実施の必要性が高い。</li> </ul>																																																		
②事業の実効性	1) 事業計画	<p>【事業計画】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #add8e6;"> <th colspan="2"></th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>2024</th> <th>2025</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="5" style="border: none;">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td>↔</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> <td></td> <td>↔↔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・土工</td> <td></td> <td></td> <td>↔↔</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・擁壁工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↔↔</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・舗装工</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>↔↔</td> </tr> <tr> <td colspan="2">事業費（億円）</td> <td colspan="3">3.0</td> <td></td> <td>3.0</td> </tr> </tbody> </table>							2022	2023	2024	2025	合計	工種区分	調査・設計	↔				/	用地補償		↔			工事			↔↔		・土工			↔↔		・擁壁工				↔↔		・舗装工				↔↔	事業費（億円）		3.0				3.0
			2022	2023	2024	2025	合計																																														
工種区分	調査・設計	↔				/																																															
	用地補償		↔																																																		
	工事			↔↔																																																	
	・土工			↔↔																																																	
	・擁壁工				↔↔																																																
	・舗装工				↔↔																																																
事業費（億円）		3.0				3.0																																															

2) 地元の合意形成	・早期に事業説明会を開催し。沿線地権者の理解を得る。	
	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。
判定	【理由】 ・円滑な事業環境が整っており、計画の実行性が確保されている。	
III 対応方針（案）		
事業実施が 妥当である	事業実施が妥当である。：上記①～④の評価ですべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。	
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容		
<input checked="" type="checkbox"/> 対象（事業完了後5年目） <input type="checkbox"/> 対象外 【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】 — 【主な評価内容】 交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度		